

みずほCustomer Desk Report 2016/12/13号(As of 2016/12/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	115.50
TKY 9:00AM	115.43	1.0545	121.72	1.0187	GBP/USD	1.2588
SYD-NY High	116.12	1.0652	122.92	1.0197	AUD/USD	0.7504
SYD-NY Low	114.86	1.0525	121.50	1.0125		0.7431
NY 5:00 PM	115.04	1.0635	122.31	1.0134		0.7496
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.065/12.565		Δ25RR	1.035	Yen Call Over	
NY DOW	19,796.43	39.58	債券市場			
NASDAQ	5,412.54	▲31.96	日本2年債	-0.1800	▲0.1bp	
S&P	2,256.96	▲2.57	日本10年債	0.0880	2.7bp	
日経平均	19,155.03	158.66	米国2年債	1.1411	0.8bp	
TOPIX	1,531.43	6.07	米国5年債	1.8891	▲0.2bp	
ソコ日経先物	19,135	▲120.00	米国10年債	2.4767	0.9bp	
ロンドンFT	6,890.42	▲63.79	独10年債	0.3990	3.4bp	
DAX	11,190.21	▲13.42	英10年債	1.4670	1.4bp	
ハンセン指数	22,433.02	▲327.96	豪10年債	2.8550	4.0bp	
上海総合	3,152.97	▲79.91	為替市況			
USDJPY 3M Vol	12.22	0.02%	USD/CNH	6.9259	▲0.0023	
USDJPY 6M Vol	12.27	▲0.09%	ドルインデックス	100.98	▲0.61	
EURJPY 3M Vol	11.61	0.15%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	13.44	▲0.06%	CRB指数	193.346	1.37	
			NY金	1,164.00	2.10	
			WTI	52.470	0.97	
			Dubai Spot	53.92	2.63	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月12日	8:50	日	機械受注(前月比/前年比)	10月 4.1%/-5.6%
	8:50	日	国内企業物価指数(前月比/前年比)	11月 0.4%/-2.2%
				1.1%/-4.9%
				0.3%/-2.3%

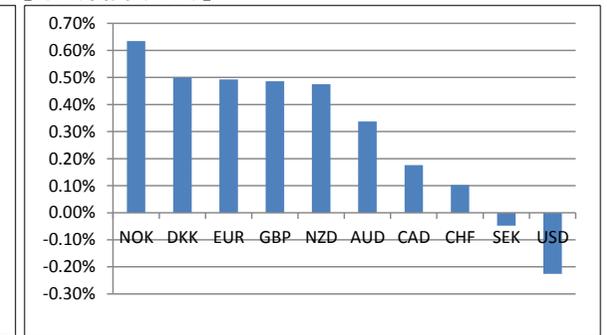
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月13日	11:00	中	鉱工業生産/小売売上高/固定資産投資(前年比)	11月 6.1%/10.2%/8.3%
	16:00	独	CPI・確報値(前月比/前年比)	11月 0.1%/0.8%
	18:30	英	CPI(前月比/前年比)	11月 0.2%/1.1%
	18:30	英	小売物価指数(前月比/前年比)	11月 0.2%/2.1%
	19:00	独	ZEW調査(現状/期待)	12月 59.0/14.0
	22:30	米	輸入物価指数(前月比/前年比)	11月 -0.4%/0.0%
				6.1%/10.0%/8.3%
				0.1%/0.8%
				0.1%/0.9%
				0.0%/2.0%
				58.8/13.8
				0.5%/-0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.40-115.40	1.0600-1.0700	121.50-122.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円相場は上に往って来いの展開。原油価格の上昇がインフレ期待にも繋がったとみられ、米10年債利回りが2.52%台まで上昇する中、ドル円は今年2月以来となる116円台まで強含んだ。但し、その後はポジション調整と見られる動きとなり、114円台後半まで下落している。本日は、動意に欠いてもみ合う展開を予想。昨日海外時間のドルロングポジションの調整と見られる動きは本日も継続する可能性があるものの、今年最後の注目イベントであるFOMCを14日に控えている中、相場の方角を決定付けるほどにはならないだろう。短期的なストップロスオーダーを巻き込みながらの急落には注意を払いつつも、レンジ推移をメインシナリオと考える。

東京	東京時間のドル円は115.43レベルでオープン。先週金曜日の海外時間において米長期金利が上昇したことや、週末に開かれたOPECと非加盟国の会合にて約15年ぶりに協調減産が合意されたこと等を背景にドル円は堅調推移となり一時115.62まで上昇。利益確定等の売りが強まり一時115.16まで値を下げる局面も見られたものの、115円台前半では押し目買い意欲も見られ再び上昇を再開。引けにかけては一段と買いが強まり、東京時間高値となる115.72まで上昇した後、115.67レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.67レベルでオープン。翌日から開催されるFOMCを控え、年内利上げ期待、更には来年の継続的な利上げ期待感の高まり等から米長期金利が上昇。ドル円は一段高となり116.12まで上値を伸ばし、115.78レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2589レベルでオープン。米メディア大手の英社買収観測(未保有の約61%株式を約140億ドルで買収)等が意識されてか、1.2646まで上伸。1.2629レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0560レベルでオープン。イタリ政府主導の銀行救済基金(最大140億ユーロ)の可能性を伊紙が報じたことで、伊銀株が上昇すると、ユーロも買われ、1.0614まで上昇。1.0597レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	OPECと非加盟国の協調減産合意を受けてWTI原油、米長期金利が上昇するとドル円は今年2月8日以来10ヶ月ぶりとなる高値の116.12まで上昇し、115.78レベルでNYオープン。朝方は1年5ヶ月ぶりの高値をつけたWTI原油や10ヶ月ぶり水準となる2.52%台まで上昇した米長期金利に対する利益確定の動きを横目にドル円は115.40付近まで下落。その後も上値の重い展開に東京時間の安値の115.16を下抜けるとストップを巻き込み本日安値の114.86まで下落したが、米長期金利の低下が一服したことでドル円は115.20付近まで回復。しかしFOMCを控えた金融関連株の利益確定売りや原油価格下落を横目に米株が軟調に推移したことから、ドル円は上値の重い推移となり115.04レベルでクロス。一方ユーロドルは1.0597レベルでNYオープン。イタリ政府主導の銀行救済基金の可能性を伊紙が報じたことや、米長期金利の低下を受けてユーロドルは高値の1.0652まで上昇し、1.0635レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。